

## ◆プログラム選択（合意形成）

### プログラム選択の準備



ボランティアの魅力を議論。選考前に、学生スタッフの位置づけを再確認する作業となった。

提案されている9つのプログラムから3つのプログラムを選択しなければならない。決めるためのルールについて、真剣な議論がなされた。

これまで、みんなで積み上げてきた議論を振り返り、以下の3つを大きなポイントとした。

- ★よきパートナーであり、一緒に企画づくりができる団体
- ★夢学校でしかできないプログラム
- ★子ども達にとって魅力的なプログラム

### 合意形成



#### ①個人の意思表示と意見交換

「メリット」「デメリット」をカードで出し合い、共有。意見交換を進め、「デメリット」については、それを補う提案を行った。

#### ②1回目の選考（他の人の意見を聴いて、再考）

議論を踏まえ、「デメリット」カードを書いた学生スタッフから「考えが変わった」との声が。

これを踏まえ、2つのプログラムを決定。

#### ③2回目の選考（これまでの議論を踏まえ、投票）

残りの7つの中から、2つの授業に選択し、投票。意見が分かれ、困惑する中、議論が進む。

#### ④3回目の選考（これまでの議論を踏まえ、投票）

議論を踏まえ、残りの7つの中から、1つを選択し、投票。別の授業に投票した仲間の意見を最後に聞き、納得できるかどうかを最後に確認。

#### （学生スタッフの感想）

- ・全部の授業のメリットが感じられる議論ができた。
- ・こんなに真剣に話し合うとは最初思っていなかった。
- ・自分達を選んだのだから、楽しみたい。
- ・みんなと話し合い、一つになった気がする。



子ども達が学ぶプログラムを大人任せにしないのが「いまばり夢学校」の特徴。プログラムの審査員になることから企画への関わりがスタートする。審査に多数決は許されない。納得するまで話し合う。自分が「興味がある」と思ったプログラムも、別の人には「魅力的でない」と言う。そんな中でみんなにとって大事なことを決める。自己決定と合意形成。大人の社会に求められる自治の力かもしれない。